

## 12. 水野半兵衛

水野半兵衛は「蒔絵写真」の考案者です。

蒔絵写真 水野半兵衛「日光東照宮陽明門」

### 1 Mizuno Hambei (Photographer)

Gold lacquer glass photograph of Yomeimon Gate of Nikko Toshogu Shrine.

¥260000

全体の大きさ : 26.5 x 33.5 cm 写真の大きさ : 13 x 20.2 cm



#### 《蒔絵写真とは》

黒漆が塗られた木版に、金漆もしくは銀漆を重ね塗りし、その上から写真をコロタイプ印刷したものが「蒔絵写真」である。

額には蒔絵が施され、壁掛け用や写真帖の表紙として使われた。

考案者は水野半兵衛、明治23年(1890)にこの「蒔絵写真」を発明し、明治24年(1891)12月26日から15年間その特許を取得した。嘉永5年(1852)に静岡で生まれた水野は、明治2年(1869)に下岡蓮杖の二番弟子であった臼井秀三郎から写真術を学び、明治3年(1870)、静岡で写真業を始めた。唐人お吉を撮影したという一説もあるが、明治16年(1883)、工部省に乾板製造の旨を届け出て、翌年には横浜に移り、写真業のかたわら乾板製造の研究に打ち込んだ。

明治23年(1890)の第三回内国勸業博覧会では有功賞牌、明治37年(1904)のセントルイス万国博覧会では金牌、明治38年(1905)のポートランド博覧会では賞牌を「蒔絵写真」を出品し、受賞している。

JCII PHOTO SALON「写し絵の世界と変り写真」(著者：井桜直美)より

蒔絵ガラス写真 水野半兵衛「軍艦」

2 **Mizuno Hambei (Photographer)**

Gold lacquer glass photograph of a military ship,

¥280000

水野半兵衛は明治 23 年に「写真蒔絵法」を発明し、明治 24 年（1891）にその特許を得ました。

この蒔絵写真の裏には「明治 24 年 12 月 26 日第 1408 号 15 年間特許 横浜水野」と「Pure Gold Lacquer Photographs. H. Mizuno, Fudoshita, Ota, Yokohama」の判と「28 年 6 月 17 日」という書き込みがあります。

全体の大きさ：32 x 39.5 cm 写真の大きさ：18.5 x 26.2 cm.



蒔絵写真の技法で、木版の代わりにガラス板を使ったものが、蒔絵ガラス写真です。

「最初に写真を印刷し、その上から金漆が銀漆を塗り、さらに黒漆を重ね塗り、塗布した裏面から鑑賞するもので、江戸時代から明治時代に作られたガラス絵を思わせる技術である。」（JCII PHOTO SALON「写し絵の世界と変り写真」（著者：井桜直美）より）